

京都教区時報

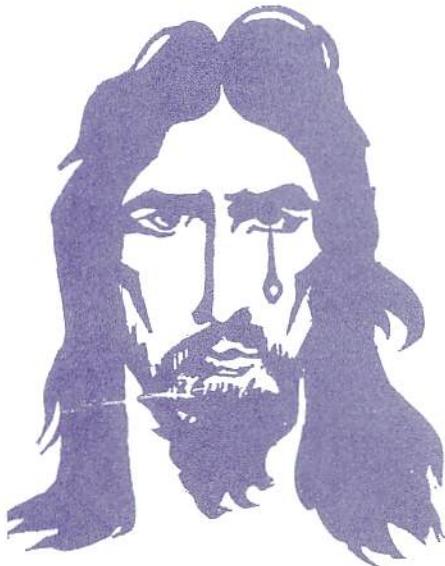
第125号

田中司教認可
毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨

編集 京都カトリック教理センター 住所 京都市左京区仁王門通新高倉東入 Tel 761-9095

() 全国大会(ナイス)にむけて各地の報告(2) ()



人権を尊び

平和を築こう

8月9日(日) 平和祈願ミサ

第一回福音宣教推進全国会議(ナイス)のテーマを考え、その闇りの中で「平和への歩み」とどう取り組むか整理してみましょう。

全国会議の3つの柱のうち特に第1の柱「日本の社会とともに歩む教会」は人権と平和への問題提起にもなっています。例えば、現代社会の姿はどうでしょう。自然の破壊、戦争への危険、障害者、差別、核など平和を脅かす問題が山積されています。また、日本は侵略戦争で2,000万人以上の人権を無視し、殺した事実を正確に次の世代に伝えていき風化しないように、また母の胎内で殺されていく小さな生命のことなど言われていることはたくさんあります。

平和への歩み実行委員会では、こうした多くの問題にもっと関心を持つていただきたく、今年度は各地区ごとに行事を自主的に計画推進し教区全域で展開することになりました。活動の一例を紹介すると原爆絵画展、平和を考える集い、世界の弱い立場におかれている人々と苦しみを分かち合う祈り、平和行進、ウォーカソンなどナイスの課題に沿った活動でもあります。小教区、ブロック、小さなグループでの話し合いを通じ、問題意識をより高めていき、その問題の中から具体案を育てていってもらいたいと思います。私たちの平和への歩みは、あなたが平和に関心を持つことから始まります。

「平和達成のために、自らを啓蒙し、他人を啓発しようではありませんか。
ともに手を取り合つて、友情と團結のある未来を作ろうではありませんか」
(教堂の広島での平和アピールより)

宣教司牧評議會報告

6月
27日
28日

第二回評議会の議事内容は次の
様であつた。

○会場準備委員会

新評議員紹介 Sr 安井（ノート）

ルダム常任委員)高橋朗子(河原町常任委員、事務局)
2 平和の歩み取組みについて
(時報124号、P3 参照)

い所へお願ひする
4教区創立50周年記念ミサ

(2) ミサ準備特別チーム編成

○11月23日のミサ

○教区創立記念一斉ミサ 5福音宣教推進会議に関するて

○代表者会の報告については時報
124号参照

○中央実行委員会について

一般マスコミに対する対応について、代表者以外の参加について、(全体会には出入り自由)

その問題点を評議員で確認し合
う事で終つた。

司教の

足
ど
り

8日	ローマ諸宗教'87総会に参加して BKJ 経田帰国
10日(日)	鈴鹿教会30周年堅信ミサ
11日	Sr. 阿部CND管区長來訪。来客多く、諸宗教関係の多し
13日	平城NT合同会議。MM日本総会にBp.古屋と参列、教区創立50周年ミサ（関西セミナー）
14日	Bp.相馬、塚本(神師)、Sr.ルイザと面談
15日	Vと国際電話
16日	日本聖公会組織100年大礼拝式（大阪マリア大聖堂）参列
20日	京南司月例会
21日	聖母の家学園理事会
22日	丸山師見舞（博愛会病院・神藤MDと共に）。比叡山・KCC有志と夕食会
23日	ブルール枢機卿（無宗教・文化長官）カリエ次官と米洛、奈良・京都の視察案内。Bp.ロッサー（元諸宗教次官・現ローマ教区文化担当・ラテラノ大学長）来訪
24日(日)	教区創立50周年ミサ（於安土・滋賀信徒協主催）
25日	司祭評定会
28日	ブルール枢機卿歓迎懇談夕食会（司教団担当司教主催）
29日	ナイス京都会場委員会
30日(日)	西大和堅信ミサ

永年の信用と実績 真心のこもったご奉仕

葬祭センター

株式
会社

公益社

本社・烏丸三条下ル☎(075)221-4116(代)

北支社・京都市北区紫明通堀川東入
南支社・宇治市槇島町・文教短大前

和洋紙卸

(株)都産紙

美しい印刷

(株)からふね屋

京都市中京区三条通富小路東入
〒604-**2**(075)221-3233(代表)

京都市左京区東山通仁王門下ル
〒606-**8**(075)761-1166(代表)

「みんなでつくる

開かれた教会」にむけて

各地では・・・(2)

京都北部

北信連信徒大会

ミニナイスを開催しました

北信連信徒大会は宮津市内暁星女子高校で開催され、中丹、北丹地区12教会の信徒、司祭、修道女等230名が参加した。

今年は北信連結成10年目に当る。この記念すべき年に開催される全国会議(ナイス)の「開かれた教会づくり」の課題について参加者の共通理解と福音宣教意識を高める大會となつたことは意義深いことで

あつた。心なしか早朝からマイクロバス、自動車、列車などで米場した参加者には力強さと意気込みが感じられ、梅雨の晴間のように明るい雰囲気のなかで開催された。

午前中、講師の村上透磨師より司教団から出された「日本の教会の基本方針と優先課題」の背景や

第1回全国会議が京都で開催されることになつた経過を京都教区ビジョンから解き明かしながら、その共通基盤は「教会が社会と共に歩むものでなければならぬ」というところにあると言われた。特に私たちは無関心であつてはならない。福音化されていない現実社会にあつても自分の囲りをよく見

て知り何故そなつてゐるかを考え、どうしたらよいかをキリストの眼でお互いにつよになつて考え、分かち合い1歩でも2歩でも前進することが地の塩、世の光となるキリスト者の責任であると話された。

また今の社会は力、富、名誉、学歴等が優先される社会でありキリスト者といえどもこの社会の仕組みから遊離して生活できない。こうしたなかで信仰と生活が遊離され、日曜と月曜と土曜の生活をうまく変身していることに問題があるとも説明された。そして最後に社会に眼を向けないで痛みを分かち合うなかで本当の祈りができると結ばれた。

午後、12グルーピに分かれて分かち合いに入った。

分かち合い報告

○キリストを「教える」のではなく、「伝える」という福音宣教の姿勢で「開かれた教会」を目指す

○「小さな人々」と苦しみを分か

ち合えるように、今取り組まれている難民援助の運動等とともに、身近なところでもつと語りかけていこう。

○経済的に豊かな生活を通して信仰が弱められている現状で職場

で生活の分かち合いができるよう努めていき、家庭をもつと開き、ミッショングスクールを含め教育の見直しが急がれている。

○地域の中では、特に冠婚葬祭を宣教の場として考えよう。

○教会として初七日などの風習を取り組まなければ。

○一般に教会用語が理解されにくい。

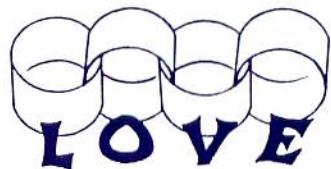
○カトリックの広報活動が不足している。

○教会内の連絡がうまく信徒全般に伝わっていない。

○20代、30代の青年信徒の見直しが大切。

(グループ報告のまとめより)
午後3時より再び講堂に集まり全司祭の共同司式で三位一体の神秘を祝いながら、今日の大会が意味深く終了したことを神に感謝し大会を終えた。

文責 梅原馨・二条紀彦



開かれた教会—健常者の立場から

小規模作業施設の開設を

通して感じたこと

田代未明

私は重度障害児施設で食事介助

をさせて戴いた事がきっかけで障害者との関りが拓がり自然に障害者に关心を持ち始めました。障害と一口で云つても、それぞれが異なります。動作だけをみても一挙手一投足の不自由さや困難は、想像も出来ないほどの努力と忍耐の連続です。私はなまんかな対応では、彼、彼女等に関わないと自覚しました。

変な苦惱と決断の末、やっと施設

入園が決りました。御両親はさぞお喜びのことと思いましたが、就職、施設、作業所等に入所するには、「食事、排泄、身支度」の介助が不要の条件が付くので一緒に卒業する仲間の中、入所先が決る者はほんの僅かで、最も入所を必要とする重度の仲間は在宅の路しか無いのです。一生家の中で一人ぼっちで生きなければならぬのに自分で喜んでおれず、何とかしなければ」と訴えられました。

K君の卒業を期にこの小さい仲間達の為にまずしい福祉行政の中、

その方に適応した小規模養育作業は、「食事、排泄、身支度」の介助が不要の条件が付くので一緒に卒業する仲間の中、入所先が決る者はほんの僅かで、最も入所を必要とする重度の仲間は在宅の路しか無いのです。一生家の中で一人ぼっちで生きなければならぬのに自分で喜んでおれず、何とかしなければ」と訴えられました。

Y君、Nさん、Hさんのお母さんは、「当所の様な作業所の需要が叫ばれて10年も経過するのに絶対数

が足りない中で、障害児の親は特養校卒業後通所出来る施設を懸命に探しました。私達も、何年も前から探し歩きました。しかし何処の作業所も我が子たちには無理だるものでもないと思います。しかし現状は、心身障害者に対する国、地方、福祉行政等補助制度の遅れと社会一般（含私）の関心の低さ

走り、寒風の中、河川敷グラウンドを駆け廻り、農作業（バケツに水を汲む訓練）、お弁当（要介助）、等

先生方も大変だと思いますが、子達もよく頑張り僅かの間にたくましく、伸び伸びした様子を見て、もし入所の場がなかつたら、毎日寝てゐるだけの生活だったと思ひます。でもこの様な生活指導を受けることの出来る処に入所出来て夢の様です。』と目を輝かせて話されました。

当作業所と同様小規模作業所は、どこでも、経済的運営が苦しく、保護者の負担（手作品を制作販売、農園作業、募金、国への補助助成請願等）、又無給に近い職員の協力で細々と運営されています。何故この様に必死で、保護者、職員の方達はこの仕事を続けておられるのでしょうか。この小さな彼、彼女等が大切な社会の一員として生活出来る場を守る為だと思います。この重い十字架も個人の力には限度があるでしょう。教会共同体として一緒に担なうことは出来ないものでしようか。

（桃山教会 田代未明）

ある日曜日、遠慮がちにミサに与かつておられる元気そな男子連れの奥さんを見かけて声をかけたみましたが。その頃は心身障害者について全く無知で関心もありませんでした。K君は、重度心身障害児で特別養護学校高等部2年生でした。

やがてK君は3年生になりましたが卒業間際まで進路が決らず大

走り、寒風の中、河川敷グラウンドを駆け廻り、農作業（バケツに水を汲む訓練）、お弁当（要介助）、等

先生方も大変だと思いますが、子達もよく頑張り僅かの間にたくましく、伸び伸びした様子を見て、もし入所の場がなかつたら、毎日寝てゐるだけの生活だったと思ひます。でもこの様な生活指導を受けることの出来る処に入所出来て夢の様です。』と目を輝かせて話されました。

当作業所と同様小規模作業所は、どこでも、経済的運営が苦しく、保護者の負担（手作品を制作販売、農園作業、募金、国への補助助成請願等）、又無給に近い職員の協力で細々と運営されています。何故この様に必死で、保護者、職員の方達はこの仕事を続けておられるのでしょうか。この小さな彼、彼女等が大切な社会の一員として生活出来る場を守る為だと思います。この重い十字架も個人の力には限度があるでしょう。教会共同体として一緒に担なうことは出来ないものでしようか。

（桃山教会 田代未明）

きょうと◆しが◆なら◆みえ

京都キリスト研究会を
紹介します

本会は「26聖人及び京都キリシタン遺跡について」の司教メーフセ

ージに応えて昭和53年11月、京都

教区及びその周辺でのキリスト教の歴史ならびに、文化に関心を持つ信徒により発足した集りです。

教区のあたたかいご支援のもと研究も充実してきました。この会は、キリスト教について研究し、その事跡を明らかにすると共に、殉教の精神を継ぐ信仰の証人として奉仕することを目的としています(会則3条)。

この目的に賛同の方、どなたでも京都キリスト研究会にご参 加下さい。

▼申込方法 入会申込書の提出と

会費1,000円納入▼定例会毎

月第3日曜日PM6時～河原町カトリック会館6階、その他研修見学、行事があります▼事務所 京都教区事務所内キリスト研究会

☎075(211)3025 湊まで



写真は6月5日の棟上式から

カトリック野外礼拝センター 8月2日 竣工

同センターは近鉄高の原駅下車、徒歩15分の線に開まれた高台に、野外聖堂、雨天ホール、黙想の家8棟、管理棟、約6メートルの大十字架を掲げたモニュメントなどが建てられている。竣工式は8月2日。信者だけではなく、地域の人々にも同センターが気軽に利用できるよう願っている。

教会は神の民

教会は神の民だと言うのは、教会がある地域や場所に限られるものでなく、世の終りから最後の審判の時まで、すべての歴史をおおうものだと

言う意味があります。

神の民だと言う時それは旅するものだ。約束の地に向つて旅をするものだと言う事なのです。

その根本的な体験は、アブラハムの旅(創12章)にあり、モーゼに連れてエジプトを脱出した砂漠の旅(モーゼ五書)に

ありこの旅は世の終りまでくり返されるのです。それはイエズスの旅、私達キリスト者の世の終りまでの旅です。

神の民である事のもう一つの考えは、教会の位階制度を考える前、まず信徒みなが神の民である

と言う考え方です。いわばキリスト教的民主主義の考え方です。

これも亦、教会憲章をみて下さい。まず、二章で神の民全体の予

言職、司牧職、祭司職を語ります。

そして第三章に教会の位階制度が語られます。第四章は再び信徒について語りますが、そこでは信徒固有の役職を語るのです。教会

のイメージはかつては教皇を頂点とするピラミッド型でした。そして下に行く程教会の

イメージは消えて行きました。

公会議のイメージはむしろ円形です。勿論中心は教皇、司教が占めます。しかしこの中

心は周りへの奉仕の中心と考えられるのです。

神の民の考えは、全人類を

呑み込んで行きます。キリスト教諸教会、諸宗教、無神論の人々をさくくみ入れてゆきます。

ちょっとあなたも

ちょっとわたしも (6)

教会は、あるいは少くともキリストにおいて集められる集いは、時間と空間を超えてすべてを包んでいくのです。教会が共同体と言ふ時、その様な長さ広さの中でどうらえねばならないでしょう。それが例えれば小教区共同体でどう現われるか、それを考えねばなりません。それは広く広く開かれた共同体へと私達のまなざしを導きます。

お知らせ



▼召命默想会 —祈りと働き—

アジア・太平洋地域の戦争犠牲者に
思いを馳せ、心に刻む京都集会

▼「平和への歩み」学習会に 参加しよう

三重県ブロック 平和への歩み実行委員会
日時 8月9日(日) 10時～14時
場所 河原町教会 〒075-231-4785
テーマ 外国人登録法問題
講師 エドワード・ブショウストフスキ

教区スケジュール

8月

- 7～9日 教会学校教師会(リリー)
ダーナ養成研修会)

- 7～10日 カトリックスカウト会

- 同キヤンボリー(マキノ)

- 西陣教会納骨堂夏季合

- 同慰靈祭(PM7時～)

- 31日 ライムンド田中司教靈名

- の祝日

50周年

- 幼きイエズス修道会

- Sr川上イト工

- スヴェール愛徳および
キリスト教育修道女会

- Sr三田寿恵子

- メリノール女子宣教会

- Srマリエルス・バウマン

- Srローズ・マグレイル

25周年

- 聖ドミニコ宣教修道女会

- Srソールフォアナ河野

- 聖ドミニコ女子修道会

Sr藤岡玲子

金祝・銀祝おめでとうございます

- 50周年
イエズスの小さい姉妹の友愛会
Srイエズスのフランスカ富美子
ウイチタ聖ヨゼフ修道会
スヴェール愛徳および
キリスト教育修道女会

ノートルダム教育修道女会

テマ

私はあなたを忘れない
(モザガリ4-2-22)



▼聖書講演会のご案内

日時 9月19日(土) PM7時～9時
場所 奈良教会

京都南部ブロック 平和への歩み実行委員会

日時 8月9日(日) 13時～17時
場所 河原町教会 聖堂
テーマ 平和啓発映画会・写真展
ヒロシマナガサキ原爆戦争のもたらすもの
奈良教会

日時 8月9日(日) 14時
場所 河原町教会聖堂
平和を祈るみことばの祭儀

- 主催 聖書使徒職委員会
▼詳しくは教理センターへ
075(752)0057

ナイス、ナイスクヤツチ出来ましたか。ライト、話し合いは清涼剤となりましたか。パイプ、煙に人をまかないで。誰だ煙にまく様な事を言う輩は? 私 (MT)